

「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」という言葉のとおり、あっという間に過ぎてしまうこの時期、皆様はいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症の再拡大や寒さのせいで塞ぎ込みがちですが、冬季オリンピックの盛り上がりは、久々の華やかで明るいニュースとなりました。この寒さもあと少しです。残りわずかとなった今年度を、有意義に過ごしましょう。



第116回 医師国家試験

第116回医師国家試験が今年も無事終了しました。今年も2月5日(土)と6日(日)の2日間かけて行われ、山口大学の学生の大半は、例年通り安田女子大学(広島市)にて受験しました。新型コロナウイルス感染症の第6波が到来する中、受験生は大きなプレッシャーを抱え、体調管理に気を張っていたことと思います。第112回より、それまでの3日間から2日間での実施となり、出題数も500題から400題へ削減された医師国家試験ですが、1日当たりの試験時間は増えているため、体力勝負にもなります。さらに、年々難化していると言われており、中でも実臨床に即した問題が増えています。今年の国家試験も例外ではなく、全国的にコロナの影響で臨床実習の制限があるなかでも、その流れは引き継がれていました。医師としての初日から使える知識を養うことはとても重要ですが、単純な暗記問題が減り、実際のシチュエーションを想定した複雑な問題が増えることで、受験生は厳しい戦いを強いられます。臨床実習で体験したことを思い出ししながら問題を解いた、などという声が受験生からよく聞かれるように、

臨床実習での学びの重要性が更に増してきているといえます。

試験といえば、今年の大学共通テストは、東大前での刺傷事件に、トンガの海底火山噴火による津波の発生と、波乱続きでしたが、医師国家試験は大きなトラブルなく終了し、教員一同胸をなでおろす思いでした。山口大学の学生が皆笑顔で春を迎えることができることを心より願っています。

←広島へむかうバスに
乗り込む6年生ら(2月4日)



外科の魅力を発信！

2021年12月11日(土)、5・6年生および研修医の希望者を対象とした外科演習、サージカルウィンターセミナー2021が開催されました。本セミナーでは、縫合・結紮・電気メスといった基本手技に加え、実際の手術手技をブタの臓器を用いて外科医から直接教わることができます。全国的な外科医不足が叫ばれていますが、時間も忘れて熱心に取り組む参加者の姿は、将来の外科医療を担う頼もしさに溢れていました。年に2回、夏と冬に開催されていますので、皆さん、奮ってご参加ください！



みなさんご存知ですか？電子シラバス「eYUME」

2021年12月14日(火)、各講座のシラバス責任者にお集まり頂き、翌年度の担当ユニットのシラバス更新作業をお願いする、シラバス説明会を開催しました。ご存じの通り、シラバスとは教員が学生に示す講義計画のことですが、山口大学は全国の医学部の中でも、大変詳細で機能的な電子シラバスを構築しています。eYUMEの愛称が定着していますが、学生や教員にとって、より使いやすく、より有益なものになるよう、改良を重ねています。

学生はeYUMEを使って時間割や授業内容の確認をはじめ、出席や授業アンケートを入力することができます。また、種々の動画の配信を行っております。多岐にわたる臨床手技を解説した動画は、共用試験OSCE対策だけでなく臨床実習にも役立てることができます。教員専用コンテンツでは、学内で開催したFD研修会の動画も視聴可能です。その他、eYUMEの操作方法もわかりやすく動画で解説しています。平成29年度から導入された担任制では、各講座、面談等を通じて配属学生の把握を行って頂いていますが、学生のプロフィールを載せた“ポートフォリオ”がeYUME上で確認でき、面談の履歴を残して頂けるようになっています。

また、医学教育センターでは、分析することで教育の質の向上を目的として教育に関わる様々なデータを収集・解析するIR(Institutional Research)活動を行っていますが、eYUMEで集計した学生アンケートの結果等も貴重なIRデータとして活用しています。

山口大学医学部の教育体系やセンターニュース(本広報誌)など、学外からも閲覧できるコンテンツもありますので、この機会に是非、eYUMEにアクセスして頂ければ幸いです。また、eYUMEを利用される中で、ご不便等ございましたら、今後の改善に活かして参りますので、医学教育センターまでご連絡頂きます様、宜しくお願い致します。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp